

令和3年度 事業報告について

令和3年4月 1日から

令和4年3月31日まで

概況

我が国においては、人口減少、少子高齢化が進み、65歳以上の高齢化率は29%を超え年々上昇しています。一方、15歳から64歳の生産年齢人口は、総人口の60%を下回っており、今後もこうした状況が継続するものと予測されています。人生100年時代を迎えた今日において、働く意欲と能力のある高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することが求められています。

令和3年度の上尾市シルバー人材センターの事業は、昨年度に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めつつ、事業を進めてまいりました。会員数の維持拡大を図るため、会員募集チラシの全戸配布を行い、説明会の日程及び連合の会員拡大キャンペーンの周知を図りました。その結果、全国的にはシルバー会員的大幅な減少が続く中、令和3年度末の会員数は、1,358人と前年度末の1,323人と比べ35人増加しました。また、会員の平均年齢は74.6歳となっています。

就業の拡大については、地方公共団体、企業や個人に対し、就業開拓に関するアプローチを行いました。コロナの影響で一定期間中止を余儀なくされた就業がある一方で、選挙の投票事務において簡易的な消毒作業の新規依頼もありました。請負事業の契約金額は396,217,239円となり、前年度に比べ2,188,686円(0.6%)の増となりました。派遣事業については契約金額184,927,596円と前年度に比べ1,922,348円(1%)の減少となりました。

以下、主要な事業について報告いたします。

1 会員の増強

- ① 入会説明会を実施しました。感染拡大防止のため、少人数での開催とし、月に2日、1日2回の開催としました。
- ② 女性のための入会説明会を開催しました。
- ③ シルバーサロン「オリーブ」を14回開催し、入会の促進に努めました。

- ④ 会員募集チラシの全戸配布を行いました。
- ⑤ 市の広報誌、シルバーあげお、ホームページに会員の募集記事を掲載しました。
- ⑥ 会員ご紹介カードを入会説明会で配布し、会員増強に努めました。

2 就業の拡大

- ① 市発注事業の拡大を市行政に働きかけました。
- ② 企業に対してPR活動を行い、新規就業の開拓に努めました。

3 安全・適正就業の推進

- ① 毎月5日の安全の日に安全旗をかみひら事務所に掲揚し、安全意識の向上に努めました。
- ② 安全委員会を開催し、安全委員と事務局による会員の就業先の巡回指導を行いました。
- ③ シルバーあげお、事務局だより、ショートメッセージサービスを通じて、熱中症予防や健康診断の受診を推進し、健康意識の向上を図りました。
- ④ 臨時的かつ短期的又は軽易な業務の原点に立ち返り、就業及び契約の適正化を図りました。
- ⑤ ローテーション就業やワークシェアリングを意識して業務を進めました。
- ⑥ 飛び石事故対策としてガードフェンスを購入し、事故防止に努めました。

4 財政基盤の確立、運営体制の強化

- ① 重点事業に事業費を重点配分しました。
- ② 補助金の確保に努めました。
- ③ 公益社団法人としての機能や体制を維持・強化するため、必要最小限の職員の採用、業務分担の変更を行いました。
- ④ ホームページに就業情報を掲載するなど内容の充実を図り、タイムリーな情報更新に努めました。
- ⑤ 会員の携帯電話に向けたショートメッセージサービスの有効活用を図り、情報提供に努めました。